

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	生活環境の改善と公共用水域の水質保全<第2期>												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	所沢市												
計画の目標	下水道の整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	996	A	996	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	下水道処理人口普及率を94.4%(R2)から約94.8%(R6)に増加させる。 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)/総人口(人)	94%	95%	95%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	所沢市	直接	所沢市	管渠(汚水)	新設	幹線及び関連枝線整備事業	管渠 L=3,406m	所沢市						626	-		
	A07-002	下水道	一般	所沢市	直接	所沢市	管渠(汚水)	新設	幹線及び関連枝線整備事業	管渠 L=113m	所沢市							0	-	
	A07-003	下水道	一般	所沢市	直接	所沢市	管渠(汚水)	新設	幹線及び関連枝線整備事業	管渠 L=3,690m	所沢市							370	-	
											小計							996		
											合計								996	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
所沢市公共事業評価委員会条例に基づき、公共事業の評価に関し知識・経験を有する第三者から構成される、所沢市公共事業評価委員会に意見を求めた。また、市ホームページにて事後評価書及び概要説明書を公表する。	令和7年6月30日・11月11日（所沢市公共事業評価委員会）
	公表の方法 市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	第1次市街化調整区域下水道整備計画の第4期事業と、第2一般廃棄物最終処分場下水道整備事業において、社会資本整備総合交付金及び市費による下水道整備を進めたことにより、下水道を利用できる人口が、令和2年度当初から令和6年度末までに1435人増加した。（処理区域内人口324,981人 326,416人）
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	上記のとおり下水道への接続が可能になり、市民の生活環境が改善された。 また、市内の河川水質も概ね環境管理目標値以下であり、市民による水質浄化の取組みや浄化槽設置の促進などと併せて、公共用水域の水質保全に貢献したと考えられる。
特記事項（今後の方針等）	
<p>特記事項 第1次市街化調整区域下水道整備計画の第4期事業として、社会資本総合整備計画の事業内容を含めて予定していた区域の整備が概ね完了した。 第2一般廃棄物最終処分場下水道整備事業として、社会資本総合整備計画の事業内容を含めて予定していた区域の整備が概ね完了した。</p> <p>今後の方針 幹線および関連枝線整備事業（未普及対策）については、令和9年度より国の財政支援が困難となる想定である。しかし、市街化調整区域内の既存宅地にお住まいの住民の方々から、汚水管整備の要望があることもあり、所沢市では、令和5年度末に第2次市街化調整区域下水道整備計画（令和8年度～令和17年度）を策定し、整備を進めて行く予定である。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	95%
	最終実績値	95%
		下水道処理人口普及率の目標値（令和6年度末）は約94.8%であったが、実績値で95.3%（処理区域内人口326,416人/行政区域内人口342,296人）となった。（事後評価書作成システム上、小数点以下が四捨五入され、95%と表示されている。）目標値は平成28年時点の人口推計を用いた所沢市下水道事業経営計画（平成30年度～平成36年度）を元に設定していたが、推計よりも処理区域内人口の減少が緩やかであったため、結果として実績値が目標値を超えることとなった。